

(※)本公募説明会資料は、公募資料の一部を構成します。



戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第2期 フィジカル空間デジタルデータ処理基盤

「エッジ領域のIoT技術活用にかかるニーズ最新動向調査」

公募説明会

- ◆ 担当紹介
- ◆ SIPの概要(内閣府)
- ◆ (SIP)第2期
 フィジカル空間デジタルデータ処理基盤の概要
- ◆ 今回の公募について
 - ✓ 公募要領に関して
 - ✓ 提案書等作成にあたっての注意事項
- ◆ 質疑応答
- ◆ 連絡事項

2019年10月9日

IoT推進部

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

○プログラムディレクター

佐相 秀幸 (富士通株式会社 シニアフェロー)

○サブプログラムディレクター

益 一哉 (東京工業大学 学長)

石田 誠 (豊橋技術科学大学 特別顧問)

西 宏章 (慶應義塾大学 教授)

○戦略委員会 ファシリテータ

木村 康則 (科学技術振興機構 上席フェロー)

桑田 薫 (東京工業大学 副学長)

○内閣府

登内 敏夫 (政策企画調査官)

菅野 普 (上席政策調査員)

玉川 晶子 (政策調査員)

○国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)

IoT推進部

森田 真 統括研究員

藤野 泰弘 主任研究員

御子柴 憲彦 主査

神邊 哲也 主査

斎藤 靖 主査

遠藤 勇徳 主査

鳥居 靖之 主査

本郷 和哉 専門調査員

戦略的イノベーション創造プログラム (SIP)の概要

戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第2期 フィジカル空間デジタルデータ処理基盤 の概要

エッジ領域のIoT技術活用にかかるニーズ最新動向調査

公募要領に関して

※本公募にて留意していただきたい点を中心に説明します

- ◆ 公募要領
- ◆ 仕様書
- ◆ 研究開発計画「フィジカル空間デジタルデータ処理基盤」
- ◆ SIP第2期2019年度実施方針
- ◆ 科学技術イノベーション創造推進費に関する基本方針
- ◆ 戦略的イノベーション創造プログラム運用指針
- ◆ 提案書の様式
 - －別紙1: 提案書作成上の注意、表紙、要約版、本文(Word)、
 - －別紙2: 提案書類受理票
- ◆ 契約に係る情報の公表について

(※)約款、マニュアル等については以下をご確認ください。

契約約款:

http://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/h30_3yakkan_chousa.html

委託事業に係るマニュアル等:

<http://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

http://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual_jimushori_h30.html

調査事業	内容
Society 5.0実現のためのエッジプラットフォームの構築・運用に関する戦略提言	<ul style="list-style-type: none">• 本研究開発において提唱するエッジPF について、その構築・運用に関する戦略を提言することを目的として実施する。 <p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">公募終了</p>
エッジ領域のIoT技術活用にかかるニーズ最新動向調査	<ul style="list-style-type: none">• SIP「フィジカル空間デジタルデータ処理基盤」の事業実施にあたり、少子高齢化・労働力不足を起因とする社会課題であり、例えば安心・安全、弱者社会参画、労働力不足、生産性向上等の産業の現状、及びエッジ領域のIoT技術活用にかかるニーズを探ることを主眼として調査を行う。

- ・ 仕様書 の 2. 目的・背景、 3. 調査内容 に適合する提案を募集します。

(1) エッジ領域のIoT技術活用に係るニーズ最新動向調査

少子高齢化・労働力不足を起因とする社会課題であり、例えば安心・安全、弱者社会参画、労働力不足、生産性向上等の産業の現状、及びエッジ領域のIoT技術活用にかかるニーズに係わる動向調査を行う。

(2) エッジ領域のIoT技術の普及に係る分析および戦略的提案

前項の調査結果をふまえ、社会課題を解決するためのエッジ領域のIoT技術の普及に関する分析と、普及に向けた方策の戦略的提案を行う。

(3) 調査・分析結果および戦略提案のプログラム運営へ反映する体制の構築

本プログラムで設置するエッジプラットフォーム戦略検討を担う戦略委員会を運営しながら、同委員会にて調査・分析況や戦略的提案の検討状況を報告し、議論の内容や方向指示に応じて調査方針を能動的に修正しつつ調査を進める。

(4) 調査・分析結果および戦略的提案の取りまとめ

調査・分析結果は、年度末の中間報告及び調査終了時の完了報告を行う。

戦略委員会の議論の取りまとめをおこない、その結果を反映した戦略的提案について成果報告書としてまとめる。

(5) 情報発信手法の立案

本調査・分析結果および戦略的提案についてわかりやすい形で一般に紹介、発信していくためのコンテンツの作成を含む効果的な情報発信手法を立案する。

- ・ 本公募の調査内容詳細については、本公募の仕様書、および「フィジカル空間デジタルデータ処理基盤」の研究開発計画を参照してください。

調査スケジュールイメージおよび戦略委員会予定



2019/9	10	11	12	2020/1	2	3
--------	----	----	----	--------	---	---

▲委員会

▲委員会

▲委員会

▲委員会

▲委員会

(5) 情報発信手法

(3) 調査・分析結果および戦略提案の
プログラム運営へ反映する体制の構築

▲委員会
調査中間レビュー

2019年度
中間報告

(1) エッジ領域のIoT技術活用に係る
ニーズ最新動向調査

▲1/M output

2020/4	5	6	7	8	9	10
--------	---	---	---	---	---	----

▲委員会
普及戦略議論

▲委員会

▲委員会

▲委員会

(4) 調査・分析結果および
戦略的提案の取りまとめ

(3) 調査・分析結果および戦略提案のプログラム運営
へ反映する体制の構築

(2) エッジ領域のIoT技術の普及に係る分析および戦略的提案

▲委員会
調査 最終レビュー

▲8/M output

2020年度
最終成果報告

事業期間

- NEDOが指定する日から2020年10月末日まで仕様書に示すように、最終報告書を提出していただきます。

事業規模

- 2000万円以内

次のa.からc.までの全ての条件を満たすことのできる、単独ないし複数で受託を希望する大学、企業等とします。産学官等の連携での応募を推奨いたします。

- a. 当該技術又は関連技術についての調査／事業実績を有し、かつ、調査／事業目標の達成及び調査／事業計画の遂行に必要な組織、人員等を有していること。
- b. 当該委託業務を円滑に遂行するために必要な経営基盤を有し、かつ、資金等について十分な管理能力を有していること。
- c. N E D O が調査／事業を推進する上で必要とする措置を、適切に遂行できる体制を有していること。

審査基準

- a. 調査の目標がN E D Oの意図と合致していること。
- b. 調査の方法、内容等が優れていること。
- c. 調査の経済性が優れていること。
- d. 関連分野の調査等に関する実績を有すること。
- e. 当該調査を行う体制が整っていること。
- f. 経営基盤が確立していること。
- g. 当該調査等に必要な研究員等を有していること。
- h. 委託業務管理上N E D Oの必要とする措置を適切に遂行できる体制を有していること。
- i. ワーク・ライフ・バランス等推進企業に対する認定等の状況

(1) 契約

新規に調査委託契約を締結するときは、最新の調査委託契約約款を適用します。

また、委託業務の事務処理は、NEDOが提示する事務処理マニュアルに基づき実施していただきます。

【参考】

・調査委託契約標準契約書（約款、様式、別表及び積算基準）

https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/2019_3yakkan_chousa.html

・委託事業の手続き：マニュアル

https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual_jimushori_2019.html

(2) 研究開発独立行政法人から民間企業への再委託

研究開発独立行政法人（国立研究開発法人）から民間企業への再委託又は共同実施（再委託先又は共同実施先へ資金の流れがないものを除く）は、原則認められておりません。

提案書等作成にあたっての注意事項

- | | |
|--|----------------|
| <input type="checkbox"/> 提案書（提案書の表紙、要約、本文） | 6部（正1部 写5部） |
| <input type="checkbox"/> 「提案書類受理票」（別紙2） | 1部 |
| <input type="checkbox"/> 会社経歴書 | （企業のみ対象）
1部 |
| <input type="checkbox"/> 直近の事業報告書 | （企業のみ対象）
1部 |
| <input type="checkbox"/> 直近3年分の財務諸表 | （企業のみ対象）
1部 |
| <input type="checkbox"/> N E D Oが提示した契約書(案)に疑義がある場合は、その内容を示す文書 | 1部 |
| <input type="checkbox"/> 電子媒体(CD-R) | |
| 以下については電子媒体でも提出してください。 | |

提案書（表紙、要約、本文）、事業報告書、財務諸表 1式
※提案書表紙(押印済み)、事業報告書、財務諸表はpdf形式で、提案書（要約、本文）はMS-Word形式で格納してください。

契約、検査、事務処理関連の各種マニュアル:

NEDOホームページを参照 (http://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/itaku-gyomu_index.html)

- 正本(1部)は片面印刷、写本(5部)は両面印刷をお願いします。
- 正本は左上をダブルクリップ等で留めてください。写本は部単位にまとめてステーブラー留めで作成してください。ファイルにとじる、製本等を行わないでください。
- 会社経歴書、直近3年分の営業報告書については、大学等の場合は提出不要です。
- 財務諸表は**貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書**のみを提出してください。その他は不要です。大学等の場合は提出不要です。
- 電子媒体(CD-R)には、提案書表紙は押印版をPDFで、「提案書要約」、「提案書本文」はMS-Word形式で格納して提出してください。財務諸表はPDFで提出ください。
- **イタリック体(青字)**で記載されている注意事項等をよく読んで記載してください。提出時はイタリック体(青字)は削除してください。使用しない表等も削除してください。

提案書の様式

「表紙」、「提案書要約」、「提案書本文」について
記載例に従って作成してください。

「表紙」

- ・共同提案を行う場合、提案者ごとに併記してください。
- ・企業の場合、代表者は、代表取締役社長としてください。

「提案書要約」

提案書要約は2枚以内にまとめてください。

1. 調査テーマ

表紙の調査研究テーマ と同じものを記してください。

2.～6. 調査の概要/目標/提案方式・方法/課題/実績

提案する調査に関して各項目を極力具体的に記載してください。

7. 調査計画

当該調査をどのような手順で行い、どの程度の経費が必要となるかを一覧表にまとめてください。また()内には投入研究員数を記載してください。

連名提案の場合は、調査計画の中で各者の役割と関連性を記載して下さい。

8. 調査体制

(1) 調査体制図

当該調査に対してどういう分担で体制を組み、進めていくのかを記載して下さい。連名提案(再委託先含む)の場合は、各者の役割と関連性を記載して下さい。

当該調査を受託したときの各組織内の統括責任者、業務管理者及び経理管理者について記載してください。共同提案の場合や再委託を行う場合は、まとめて示してください。

(2) 業務管理者及び実施者の調査に関する業務実績について

業務管理者、業務実施者の当該調査分野に関する業務実績について記載ください。

9. 2019年度、2020年度の必要概算経費

- ・当該調査に必要な経費の概算額を以下調査委託費積算基準に定める経費項目に従って記載してください。

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/yakkan.html>

https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/2019_3yakkan_chousa.html

再委託経費は全体の50%未満となります。再委託に関しては、「再委託理由及びその内容」に、合理的理由等を記載してください。

また外注費についても、必要性及び金額の妥当性を精査してください。

10. ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況について

- ・様式に従って記載ください。審査の際の加点対象になります。
-

12. 提案書受理票

12. 契約に関する合意

NEDOより提示された契約書(案)に記載された条件に基づいて契約することに異存がないことを確認した上で提案書を提出していただきます。疑義がある場合は、その疑義の内容を記述した文書を作成のうえ、提案書に添付してください。

公募開始	:	10月2日
公募説明会	:	10月9日(本日)
公募期間	:	10月2日～ <u>10月21日(月)正午</u>
審査期間	:	10月下旬(予定)
委託先決定	:	10月下旬以降
公表	:	11月上旬以降
契約	:	11月下旬頃(予定)

※ 本公募に関するお問合せは、 sip-phys@ml.nedo.go.jp へお願いします。

- **提案書類受理票**を記入の上、提案書をご持参、または同封のうえ送付してください。
- 提案書を持参する場合のご注意 朝、夜など担当者不在の場合もございます。
- 書類不備の修正をお願いすることがあり、日時に余裕をもって持参ください。
- 郵送等の場合、発送日でなくNEDOの受領日が期限前である必要があります。また書類不備も想定されますので、日時に余裕をもって送付ください。

Q&A

- **提案書の提出期限： 10月21日（月）正午必着**
- 郵送、宅配の場合は、刻限までに到着するよう充分にご注意ください。物流機関の遅延による場合でも、期限を過ぎた提案書は受領致しかねますので、ご承知おき下さい。
- 持参いただく場合はミュージア川崎16階の「総合案内」の受付までお越しください。受付にて案内があります。
- 提出書類に不備があると受領できません。チェックリストを活用し、修正に必要な期間の余裕をもって準備・提出いただくよう、お願いします。
- 問い合わせ窓口： 電子メールにてお願いいたします。内容により回答まで時間がかかる場合もございます。

sip-phys@ml.nedo.go.jp